

令和5年度（公財）全国高等学校体育連盟フェンシング専門部
指導者研修会実施報告書

1. 期 日 令和5年11月23日（木）～25日（土）3日間
2. 会 場 愛知県豊田市 愛知工業大学フェンシング場
3. 講 師 富田 弘樹さん（愛知工業大学名電高等学校教諭）
4. 参加者 17名（北海道1、関東1、東海8、北信越3、中国2、四国1、九州1）
5. 講義内容（講師 富田先生から、実施要項より）

テーマ 「フェンシングを起点とした人生を豊かにするコーチング」

コーチングをする上でフェンシングを指導することにすべてをかけて自らの身体や時間を削ってしまっている方が多いように感じています。スポーツは心身の健康を促すもので、楽しいことを前提に迫っていくべきだと考えています。コーチの心身が充実して、周りのご家族や職場にも協力をしてもらえるような環境作りも含め、フェンシングというスポーツを使い「人生を豊かに」と思いこのようテーマとさせていただきます。

その一例として

- ・時間というリソースをどれだけ作り出すことができるか。
- ・作り出した時間を何に使うことが最適なのか。
- ・時代に置いていかれないためにインプットをどのようにするのか？

ということを富田先生が考えていただき、フェンシングの技術指導のほかに手段（ツール）や時間を作る方法などを研修の内容に組み込んでいただきました。また、研修会の開催前にLINEのグループを開設し、予習としての教材が自動配信されるというフェンシング界では初の取りくみがありました。

1日目：

『人はなぜ行動するのか？』という問いから始まり、「外発的動機付け」と「内発的動機付け」について、「ティーチングとコーチング」、選手のどこを評価すべきなのか、目標の設定仕方など受講者の方の要望をカバーされた内容でした。

また、MECE（Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive）というビジネスシーンで活用される問題解決を図るための思考方法「漏れなく、ダブリなく」に基づいた（3日間の研修の内容がMECEに基づいて実施されました。）富田先生作成のマインドマップを中心にフェンシングの解説や活用できるアプリの紹介などもありました。「粒度」など初めての言葉もあり、新鮮でなおかつ分かりやすく、受講者の方も感銘を受けていました。初日の演習では、アロンジェブラの仕方など基本的な演習をおこないました。

2日目：

「ナショナルチームの3つの共通認識」やアクション側にまわることの重要性などに加えて受講者の方からの要望にあった「フルーレのフレーズ」について講義および演習もおこないました。今の流行である「アタック・ストップ」についてゲームを通じての演習もあり、受講者の先生方も戦術を含め深く学ぶことができました。また、今回の講習では、よく指導にありがちな「フィニッシュ」に偏りがちな指導方法でなく（まさにMECEなのですが）「プレパレーション」、「フィニッシュ」、「ランプ」という3つの構成を漏れなく指導していただきました。

富田先生より画像を含めた多くの資料を提供していただき、その資料に沿った講義も実施しました。

3日目：

より戦術的な内容の指導が始まりました。アタック・サンプルとアタック・コンポーゼ、コントラアタックに対する対応など難易度も高い内容となりましたが、受講者の方はしっかりと耳を傾け理解されていました。

愛知工業大学フェンシング部学生と愛工大名電高校フェンシング部の生徒にご協力いただき、実際のコーチングの研修もおこないました。15本勝負の休憩1分間でのコーチング、試合終了後のフィードバック（これが一番大切）について受講者の方が実際におこない、それを他の受講者が見学するという実践的な内容でした。受講者同士の交流も多くあり、指導者の輪も広げることができました。

まとめ：

講師 富田先生は「とにかくアウトプットしてください。そして失敗してください。それからより良くしましょう。この繰り返しです。」という言葉で研修会を締めくくりました。これは、研修のすべてにわたって発信していただいたメッセージでもありました。多くの受講者の方は、指導現場ですでに実践をされております。本当に、すぐに現場で実践できる素晴らしい研修であったと感じています。

本専門部強化普及委員会もいろいろな形で先生方をサポートするべく「まず行動」を肝に銘じていきます。

【受講者感想（原文ママ）】

今回の研修でもっとも印象に残った内容があれば記入してください。

- ・すべてが最後にひとつにながっていくような構成は、さながらよくできた推理小説の伏線回収のごとくであつと息を呑むような展開に感心しました。練りに練られた進行だと感じました。大変有意義な講習会でした。御礼申し上げます。
- ・時間を生み出すために取り組んでいる事を具体的なお話を聞いた事でとても参考になりました。またフレーズについてはなかなか難しかったですが、生徒と一緒に習得したいと思います。
- ・MECEやクワドラントなどを活用した考え方。
- ・全部。
- ・足でのフレーズについてもものすごく役立ちました。
- ・コーチングの方法。
- ・レッスンの組み立て方。
- ・マインドマップを活用したプレゼン、愛工大名電でのノーション等の活用実践。
- ・時間の作り方の一つの問題解決の方法として「MECE」を活用する事。「もれなくダブリなく」の意識を持つことが有限である時間を最大限有効活用することができると感じました。
- ・「ついやっていること」「考えなくてもやっていること」は自分の才能。才能は「ついやってしまうこと」
- ・名電高校の生徒1人1人へのアプローチの仕方など。

研修会全般の感想をお願いします。

- ・昨年度に引き続き参加させて頂き、今年度もう一度聞くことで理解する事できたように思いました。ありがとうございました。
- ・非常に中身の濃い研修だったが、説明が丁寧で分かり易かった。富田先生の研修会は2年続けての開催だったけれど、今年初参加の方でも分かり易く、2年続けて参加した方は理解がより深まった内容であったと思う。また、技術面だけでなく、コーチングやチームづくりの面でもヒントになる話が多く大変刺激的な3日

間であった。帰ったら部活動の指導でさっそく試してみたいと思える研修会であった。

- ・学ぼうとすればするほど、時間が足りません。充実した学びになりました。
- ・レベルが高く、ついていけなかったのが残念だったが、目的が「できる、できないは関係なく、全てを伝える」ことにあったと思うので、今後消化していきたい。
- ・MECE を使って、フルールを構造化して説明いただき、非常に理解しやすかった。座学と実践のバランスが良く、かつ連動していたことで、理解が促進された。素晴らしい内容だった。
- ・私は、エペの選手だが今回の内容は、エペにも通じる場所があり、フェンシングの本質的な部分については、同じであることが分かった。
- ・「モレなく・ブレなく」をベースに、自分の指導を振り返ることができました。特に、自分のレッスンには「リカバリー」の要素が薄いことに気づきました。
- ・ロジカルな富田先生のお話が非常にしっくりきた。自分が指導する時の軸を再確認することができましたし、ブレずに指導に繋げることができそうだと感じた！来年度以降もよろしくお願ひします。
- ・富田コーチのコーチング理論は、非常に洗練されたものであると感じました。しかし、その裏にはフェンシングの知識のみならずマーケティング分野の知識など様々な分野の学びを重ねた結果と推察します。自分自身の指導の課題でもあった「言語化」ということも講義やレッスンを受けることで、自分の理解が進んでいる印象が多々ありました。早速、学んだことを本校の生徒向けに言葉を変えて伝えてみたところ、今まで抽象的であった部分が具体化し、理解が目に見えて進んだと感じました。富田コーチもおっしゃっていましたが、アウトプットを実行し、失敗しながらも改善を行い、自らの指導に落とし込んでいきたいです。
- ・去年・今年と同じ講師の先生で実施していただけたので、去年の研修で理解しきれなかった内容を研修し直すことができてよかったです。
- ・非常にためになる話や考え方が聞けてありがたかったです
- ・富田先生の経験談を入れての指導はとても参考になりました。

今回の研修を今後どのように活かしていきたいと考えていますか？

- ・初心者の入り口での指導に役立たせていただきます。
- ・少しでも試して行きたいと思います。
- ・部活動でいろいろと試したい。
- ・出きることからすぐ実行したいです。
- ・選手に必要なことを必要な順番に、ルール周知から始めたいと思います。
- ・まずは、用語集を配布して、言葉による選手とのズレを修正したい。(私は、週一回しか練習に参加できないため) 頂いた資料や、それをベースに作成する資料を活用し、自ら考え、自走できるチームにしていきたい。
- ・選手の試合を見ながら、イレギュラーの要素をレッスンに取り込み、共に問題解決策を考えていけるような練習を提供したいです。
- ・すぐに実践(アウトプット)し、改善してまた実践のサイクルを繰り返し成長したい。
- ・帰校後、早速いくつかの内容を生徒に伝えてみました。目に見えて理解が進んでいたもので、さらに改善を行いつつ、自分自身の指導としての色を出していけたらと感じています。
- ・部活動指導やクラブチームの指導の中で実践していきたい。
- ・まずは富田先生のレッスンを真似してみようと思います
- ・さっそく帰ってからレッスン(アランジェブラ、デガジェ、クーペ他)に取り入れさせてもらいました。

開催時期はどうでしたか？

- ・テスト期間中でしたので良いと思います。
- ・今回は木曜日の祝日～土曜日だったので日程としては丁度よかった。日曜日がゆっくりでき、月曜日の負担も軽くなったと思う。
- ・よかったです。
- ・いいと思います。
- ・テスト週間であったので、参加しやすかった。
- ・適当だと思います。
- ・良かった！
- ・良好
- ・あまり寒くなる前の時期でよかったです。
- ・定期考査の時期という先生が多かったので参加しやすかった。

開催場所はどうでしたか？

- ・静岡から近いため参加はしやすかったです。今回車を使って参加しましたが、公共交通機関だと少し移動が大変かもしれません。
- ・大学のフェンシング場が使える、見ることができたという点でも良かったと思う。
- ・私は近くてよかったです。
- ・県内なので助かりました。
- ・香川県からそれほど遠くなく、練習場の広さも充分だったので、良かった。
- ・適当だと思います。
- ・良かった。
- ・良好
- ・今回は新幹線駅からは離れていましたが、新幹線沿線での開催は移動しやすくて助かります。
- ・いつもと違い学校の練習場だったのでやりやすかった。

研修会に対する要望などがあれば記入してください。

- ・今回、高校生の指導をしている大学生や新しく顧問になった先生に声を掛けて参加させて頂きました。今年から顧問になった先生には少し内容が難しいのかもしれませんが、これをきっかけにして指導に当たってくれたらと思います。静岡県のフェンシングのある高校はほとんどが外部指導者として指導にあたっています。それが時代の流れで仕方がないかもしれませんが、少しでも指導できる先生が増えて欲しいと思います。次年度も引き続き先生方や外部指導者に声を掛けて参加して行きたいと考えています。
- ・研修会お疲れ様でした。大学生には少し学割的なものがあったとしても良いかもしれません。あと昼食時間を 90 分ぐらいにしてもらえると、食事後に午前中の研修の振り返りやメモのまとめができる余裕もあって良いかもしれません。中高年の指導者も少し体を休められます。
- ・エペも勉強したいです。
- ・外国になると参加は難しくなります。

【感想】

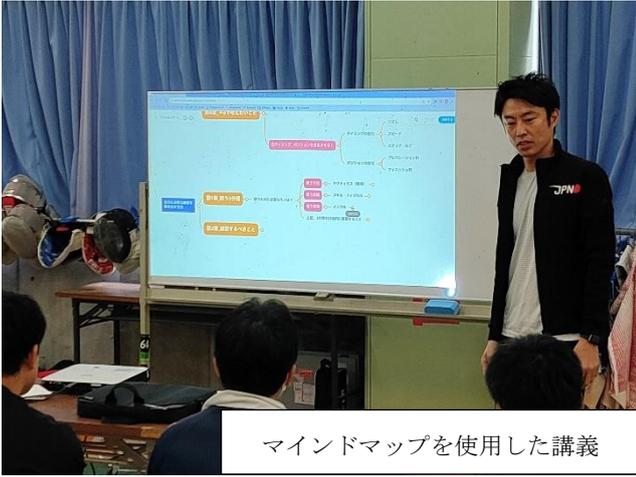
- ・多くの重要な情報やノウハウを惜しみなく開示していただき、感謝の言葉もありません。

- ・選手たちに良いお土産ができました。
- ・今後は、自分の強みを活かしたコーチングをしていきたいと思います。また、研修のなかで繰り返しお話をしていた、失敗を恐れずチャレンジすること、アウトプットの重要性については、フェンシングに限らず、仕事や家庭等においても、非常に大事な考え方だと思います。一歩踏み出す力を頂きました。
- ・本研修を企画運営して頂いた、先生方にも感謝申し上げます。
- ・全国大会等で、またお会いできることを楽しみにしております。
- ・3日間の研修、本当にありがとうございました。"
- ・ありがとうございました！
- ・高校からフェンシングを始めた選手への指導方法やさまざまなウォーミングアップ、トレーニングメニューなども盛り込んでもらいたいです。
- ・いつもありがとうございます。研修会後の動画などもう一度振り返るのにとっても参考になりました。また、よろしく願い致します。

作成：強化普及委員長 大槻

(次ページに研修会の様子を掲載してあります)

【研修の様子】



マインドマップを使用した講義



愛知工業大学フェンシング場



アシスタントによる実践の見本



演習の様子① レッソンの実践



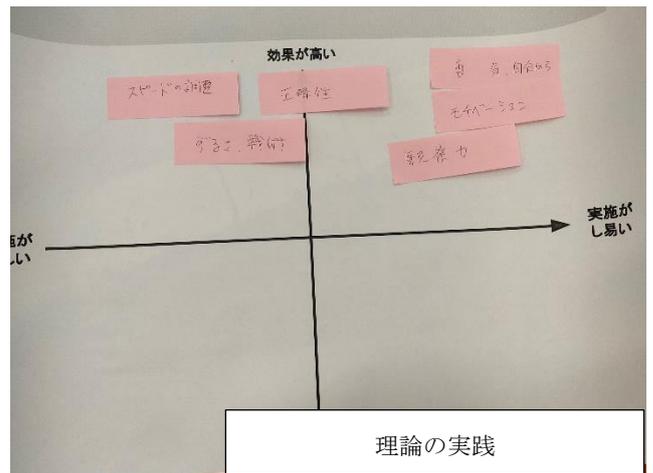
演習の様子② レッソンの実践



演習の様子③ 受講者の交流



大学生へのコーチング実践



理論の実践